

概要

卒業研究では、学期ごとに2つの課題について、それぞれ2回のレポート提出(中間提出、本提出)します。中間レポート(2000字以上)とは、最終レポート(4000字以上)へ向けて途中まで作成したもののことを指します。中間レポートを加筆修正したものを、最終レポートとして提出することになります。さらにレポート提出者に対して、課題ごとに口頭試問を実施します。なお、それぞれのレポート提出前にレポート相談期間(要予約)を設定します。この期間を利用して、担当教員に相談ができます。

1. スケジュール

【春学期「卒業研究1」履修者・春学期「卒業研究2」履修者】

課題レポート中間提出：2024年5月20日(月)9:00～5月23日(木)15:00

課題レポート本提出：2024年7月1日(月)9:00～7月4日(木)15:00

口頭試問：2024年7月中旬～下旬。日程は試問1週間前を目処に担当者から連絡する。

【秋学期「卒業研究2」履修者・秋学期「卒業研究1」履修者】

課題レポート中間提出：2024年11月11日(月)9:00～11月14日(木)15:00

課題レポート本提出：2025年1月8日(水)9:00～1月10日(金)15:00

口頭試問：2025年1月中旬～下旬

*詳細は右記にも掲示されている。https://rguide.rikkyo.ac.jp/2024/c_soc/regist/?id=a04

その他注意事項

(1) 開講学期の異なる卒業研究の開講申請期限：

春学期「卒業研究2」2024年4月1日(月)、

秋学期「卒業研究1」2024年9月2日(月)

(2) レポート提出の時間を厳守すること。提出の締切時間を過ぎたものについては受け付けない。

2. 課題

卒業研究 1（春学期）各学生は、下記 2 つの課題について、ひとつの学期のうちに両方とも取り組むこと。

【課題 1】（小池）

現代社会における「宗教」または「消費文化」または「アート」に関わる現象をひとつ取り上げて、論じなさい。ただし、次の条件を満たすこと。

- (1) 現状だけでなく、これまでの歴史的変化についても論じること。
- (2) 論拠として、具体的現象・事例についてのデータを示すこと(量的データでも質的データでもよい)。
- (3) 関連する学術的文献／論文を 5 点以上読み、そこから適宜引用するとともに、引用・参考文献リストを付すこと。また、他者の意見等を紹介しながら記述する場合には、必ず出典を明らかにし、自分の考えとは区別して書くこと。
- (4) 引用文は全体の字数の 3 分の 1 以下とすること。
- (5) タイトルは、レポートの結論を適切に表現したものとする。

【課題 2】（太田）

日本の都市または地域社会のうち 1 つを取り上げて、そこに現れている問題について具体的な統計データ、行政刊行物、各種文献などの資料を用いて具体的に説明しなさい。そのうえで、取り上げた問題について、資料とは別に学術的文献 3 点以上を参照して、社会的知見に基づいて論じなさい。

卒業研究 2（秋学期）各学生は、下記 2 つの課題について、ひとつの学期のうちに両方とも取り組むこと。

【課題 3】（小池）

観光や観光開発がもたらした自然環境ないし地域社会へのインパクトについて、具体的事例に言及しながら論じなさい。ただし、次の条件を満たすこと。

- (1) 現状だけでなく、これまでの歴史的変化についても論じること。
- (2) 論拠として、具体的現象・事例についてのデータを示すこと(量的データでも質的データでもよい)。
- (3) 関連する学術的文献／論文を 5 点以上読み、そこから適宜引用するとともに、引用・参考文献リストを付すこと。また、他者の意見等を紹介しながら記述する場合には、必ず出典を明らかにし、自分の考えとは区別して書くこと。
- (4) 引用文は全体の字数の 3 分の 1 以下とすること。
- (5) タイトルは、レポートの結論を適切に表現したものとする。

【課題4】（太田）

「移民」と「外国人材」の違いについて、具体的な日本の政策に触れながら論じなさい。その際、新聞記事2つと学術図書(学術論文でも良い)2冊以上に触れながら、社会学的に論じなさい。出典は明確に明記すること。